

NO. 952  
 発行  
 2018年  
 7月11日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 加藤 秀夫  
 編集責任者  
 教 宣 部



# どうしたら発行できるか

国労東日本本部から機関紙等の表彰について、指示が出されました。エリア本部では、7月から翌年の6月までの機関紙誌等の発行について、表彰する制度です。

## 分会機関紙は一番身近だ

最近、地本内での分会情報の発行がほとんど無い状況になっています。分会は、組合員の状況や職場の雰囲気、他労組の動向など一番身近に接しています。



## 重要な役割がある

分会機関紙は、その職場の実態や組合員の思い、意見などを紙面に記載していく重要な役割があると感じています。しかし状況は厳しいですね。



どうしたら発行できるのか、組合員の皆さんから意見を聞かなければならないと思います。

## 編集はパソコンで

機関紙の編集は、以前は手書きでしたが現在は、パソコンで編集しています。機関紙編集のソフトがあり、自由自在に編集が可能になりました。今は、便利になりました。そのソフトは機関紙編集だけではなく


## 機関紙等の表彰について

今年度中(2017年7月1日~2018年6月30日)に、次のいずれかの事由に該当するものを表彰する。

**最優秀表彰**  
 通算500号に達した機関紙誌。(すでに達していて継続して発行されているものも含む)  
 今年度中に50号を発行した機関紙誌。  
 特別な雑誌の発行、長年にわたる学習会の継続など大きな功績のあった取り組み。

**優秀表彰**  
 今年度中に30号を発行した機関紙誌。  
 スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動を通じ組合の団結強化に大きな功績のあった取り組み。

など、該当する分会は地本まで連絡ください。




て、チラシ・ハガキ・名刺・などさまざまな分野にわたって編集ができます。

挑戦してみたいかがでしょうか。慣れるまで少し時間がかかりますが、大丈夫です。

最近、機関紙講座が開催されていません。分会機関紙が発行できるように地本で企画できればと考えていますが……どうでしょうか？



## 編集後記

新潟県も梅雨明けしました。梅雨明けして、なんとなく日差しが強くなったような感じがします。30 を超える日が多くなりました。今年の夏は、暑くなるのでしょうか？最近では異常気象で例年通りの天候にならないような状況です。ね。皆さん、熱中症に気をつけてください。



今号は、機関紙について少し書いてみました。分会情報がほとんど発行されていない現状をどうすれば改善できるのか、組合員の皆さんから意見を出していただきたいと思いました。これから夏本番、生ビールの季節ですね。ビアガーデン行きましたか？夜景を見ながら生ビール！最高でしょうね。



# 北海道の鉄道の再生を考える

いま新しい時代を考える

鉄道を位置づけて  
地域の将来を考える

全国的に大都市圏・中核都市圏以外の地域では過疎化に歯止めがかかりません。

JR北海道が「単独では維持困難」とした沿線自治体も例外ではありません。

鉄道存続問題は、単にJR北海道という「一企業」の経営問題ではありません。将来的にどのような地域づくりを行って過疎を克服し、地域を発展させていくのか、その計画を策定するにあたっては、全道・全国と結びつく鉄道をしっかりと位置づけていく必要があります。



鉄道の存続問題は札幌も無関係ではありません

札幌に住んでいる人から見れば赤字路線の廃止は止むを得ないと考えるかもしれません。

しかし、これまでの札幌の発展は全道各地域と密接につながっていることからもたらされたもので、「維持困難」とされる沿線地域がこれ以上元気をなくせば、やがて札幌は活気も失われていきます。

## 学校図書館と子どもたち

この表題について、司書から講演を聞く機会がありました。とても興味深かったので記載します

### 子どもはなぜ本を読まないのか

全国的に低い・1ヶ月で読む子は4割。小さいときは本を読まない子はいない。子どもたちは、いつからか読まなくなるのか、中学生のときから。部活が忙しい、時間が無い。人との関わりが楽しいから。読まなくなるのは当たり前か。

小学校・中学校のとき、感想文など宿題を強要された。嫌なことが自分に押しかかる。大人は本を読ませることを求めている。子どもは求めていない。子どもで嫌いな子はいない。何が好きなかわからなくなる。本から遠ざかっている。

入試のとき、本を読む。必要に迫られてしまうから。子どもは雑誌など面とらえている。子どもに本を読ませるには、親が読む姿を子どもに見せる。親が読んだ本に関心がある。

### 学校図書館の役割

生徒の居場所。図書館はセーフティーネット・保健室は体調が悪いときだけだ。本が悩みの解決になる。図書館は地域性が高い。地域の必要なものがある。学校の図書室は会話ができるスペースがある。ヤングアダルト世代は世界的に本を読まない。読み聞かせ・小さいときその時間が大切なときだ。親とのスキンシップとなる。親を独占できる。

### 学校図書館法 第3条

どの学校にも設置されなければならない。学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教育を育成することを目的とした設備(第2条)と定められている。

新潟市図書館司書～基本は非常勤だ。小・中学校は非常勤。各学校によって図書館の環境が違う。



また、急増している国内外からの観光客の多くは、札幌を起点とした鉄道で道内各地域へ移動します。各地域との連結をなくしては札幌の魅力は薄くなります。加えて、道内外からの貨物列車は北海道経済を支える重要な輸送手段です。



地域づくりにとつての  
鉄道を再認識する

近年、人口減少社会、高齢化社会において重要な役割を担う公共交通機関として鉄道が再認識されつつあります。  
バス・トラックのドライバー不足



への対応や社会的弱者等の移動手段として、鉄道は今後ますます重要性を増してくるでしょう。  
これからの地域づくりにとつて鉄道の再認識が求められています。

北海道の鉄道の再生と地域の発展をめざす全道連絡会から記載

